



MORIOKA SHINKIN BANK  
SINCE 1903



# DISCLOSURE 2025

ディスクロージャー2025 盛岡信用金庫の現況

企業編

 盛岡信用金庫



## 盛岡信用金庫プロフィール (2025年3月31日現在)

名 称	盛岡信用金庫
本店所在地	〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号
電話番号	019-623-2221
設 立	明治36年(1903年)1月19日
店 舗 数	23店舗
会 員 数	31,744人
出 資 金	18億73百万円
総 資 産	2,709億44百万円
預 金 残 高	2,634億30百万円
貸 出 金 残 高	1,279億12百万円
自己資本比率	9.20%
役 職 員 数	常勤役員 7名 職 員 200名

## < CONTENTS >

盛岡信用金庫プロフィール	01
経営理念・基本方針	03
ごあいさつ	04
事業の概況・取組み方針	05
SDGsへの取組み	07
地域密着型金融の取組み	09
お客さま満足度向上への取組み	16
お知らせ	17
店舗一覧	18



# 盛岡の街並みと 歴史建築物

6

## 岩手銀行 旧本店本館

東京駅様の建築様式を伝える。平成6年(1994)国指定重要文化財に指定された。

7

## 櫻山神社

創建は寛延2年(1749)。社殿が盛岡城三の丸跡にあり、南部藩の総鎮守として信仰された。

8

## 中の橋

慶長16年(1611)に架設(現在の橋は昭和31年(1956)架設5代目)。秋に鮭が遡上する姿が見られる。



## 旧盛岡貯蓄銀行本店

昭和2年(1927)に建築。銀行建築の遺構として盛岡市の景観重要建造物に指定されている。



八幡通り



13

南大通り  
ホットライン肴町

1

### 上の橋

欄干を飾る青銅製の擬宝珠が特徴。昭和20年(1945)、国の重要美術品に指定された。

2

### 岩手県民会館

岩手県の芸術文化の中心的役割を果たすものとして、広く一般に開放されている。

3

### 紺屋町番屋

消防施設の変遷を知る建物として、平成30年(2018)盛岡市景観重要建造物に指定された。

4

### 石割桜

一説には、石のひびに桜の種が落ちこんで、生育につれ石を割ったという。

5

### 岩手県公会堂

昭和初期の近代建築の遺構として、平成18年(2006)国登録有形文化財に登録された。

9

### プラザおでって

豊かな市民生活の実現、市民・地域の交流とふれあいを促進する施設。

10

### 旧九十銀行本店本館

創建は明治時代。銀行建築の遺構として平成16年(2004)国指定重要文化財に指定された。

11

### 盛岡城跡公園

昭和12年(1937)国指定史跡に指定された。また、日本100名城にも選定されている。

12

### 盛岡八幡宮

延宝8年(1680)、第29代南部重信公により建立された。現在の社殿は平成9年(1997)に建て直された。

13

### 旧盛岡劇場

宮沢賢治も、チャップリンの映画や少女歌劇などを見に通いつめた。

# MORIOKA SHINKIN BANK DISCLOSURE 2025

## 【経営理念】

当金庫は、明治36年（1903年）の創立以来122年の永きにわたり、協同組織金融機関として共存同栄（地域に根ざし、地域と共に発展する）の精神のもと、一貫して「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念に歩んでまいりました。

地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関として、経営の健全性を確保し、より良質な金融商品とサービスの提供に努めてまいります。

## 【基本方針】

中小企業と一般大衆の地域金融機関として、金融の円滑化を図り、地元産業経済の繁栄に奉仕し、もって日本経済の発展に貢献します。

## 【経営方針】

### 収益力の強化

意欲と情熱をもって積極的に行動を起こし、攻めの営業に転じ収益力を強化し堅固な経営基盤の構築に努めます。

### 経営の安定と発展

常に健全経営を維持し、金融機関としての信用を高め、不断の発展を図ります。

### 社会への奉仕

地域社会ニーズへの対応を社会的責任と認識し、広く金融サービスの向上に努めます。

### 調和ある経営

会員、取引先との調和の取れた経営を行い、役職員との融和により、事業の組織的運営を行います。

### 働きよい職場

職員の創意を尊重し、人材の登用と資質の向上を図ります。



## Top Message

### ごあいさつ



皆さまには、平素より私ども盛岡信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫の「ディスクロージャー2025」を作成しましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、わが国経済はマイナス金利政策が解除され、「金利のある世界」に戻りました。地政学リスクや、地球規模での大規模な自然災害の頻発、日米欧の金融政策の方向性の違いなどが経済に大きな影響を及ぼすと考えられます。

また、中小企業においては、物価高や人手不足による人件費の増加等による経費の上昇、少子化の急激な加速、高齢化、人口減少等による市場規模の縮小と首都圏への一極集中による地域間格差の拡大など、多くの課題があります。

令和6年度は、新中期経営計画の2年度目として、お客さまの本業支援をはじめ各施策の完遂を目指し、役職員一丸となり全力で取り組んでまいりましたが、中小企業・地域金融機関を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような中、当金庫の預金積金期末残高は、2,634億30百万円となり、前期比0.54%増加し、貸出金期末残高は、1,279億12百万円となり前期比0.99%の増加となりました。また、収益面においては、資金運用における収益の増加、不良債権先の回収による与信関連費用の減少により、当期純利益は9億30百万円の利益計上となりました。

なお、金融機関の安全性・健全性を示す指標であります自己資本比率は、国内基準の4%を上回る9.20%となりました。

令和7年度は、中期経営計画「～サステナブル経営の実現に向けた創造と挑戦～情熱大陸作戦Ⅱ（第2ステージ）」の最終年度となります。企業風土改革をはじめとした改革を一段と進めてまいります。また、人的資本経営の取組みを重点施策に位置付け、職員が夢や希望を持って働き、生き生きと活躍してもらえる環境を整えてまいります。

金融機関を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にありますが、金融支援のみならず、ビジネスマッチ等による本業支援をはじめ経営改善・企業再生支援、M&Aを活用した事業継続支援、DX支援など、お客さまが抱えている課題に向き合い、現場の課題解決などに一層力を入れると共に、地域循環型の持続可能な地域社会の実現に貢献していかなければならないと考えております。

当金庫は、これからも地域に根差し、お客さまの課題を丁寧にお聞きし、お客さまに寄り添い、全力で支援してまいります。創業の精神であります「共存同栄」のもと、役職員全員が情熱を持ち、一致団結し時代に即した対応を図り、当金庫の価値向上・地域の発展と皆さまの幸せに貢献できるよう取り組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

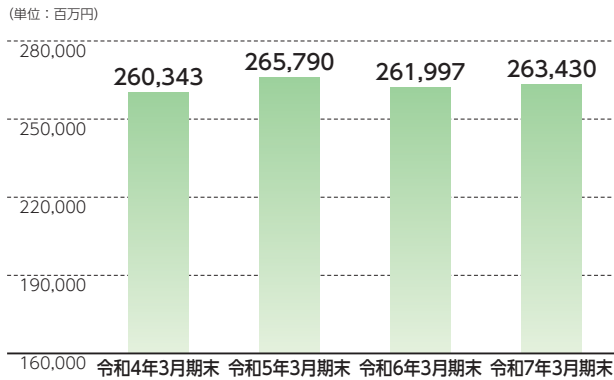
令和7年7月

理事長 浅沼 晃

## 預金残高の推移

### 【預金】

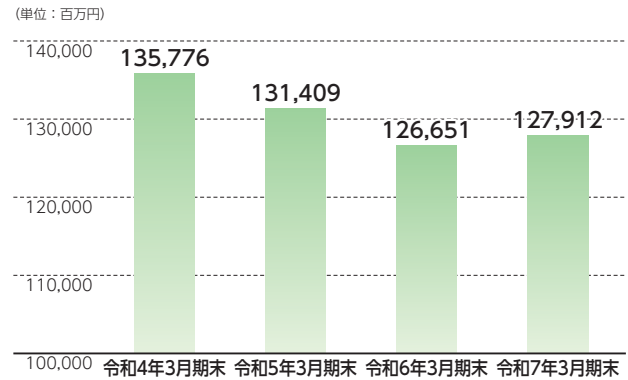
定期預金・定期積金キャンペーンご好評につき、預金残高は2,634億30百万円（前期比14億33百万円増加）となりました。



## 貸出金残高の推移

### 【融資】

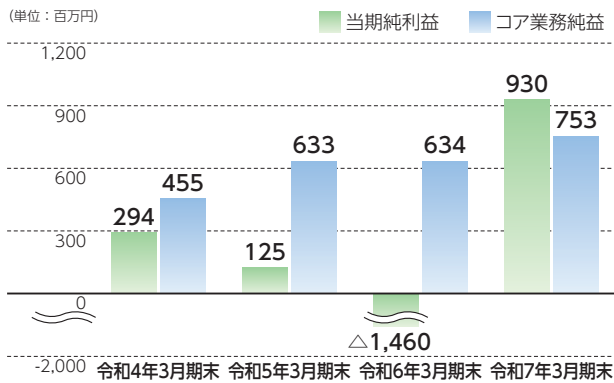
消費者ローン等、個人向け融資や地公体貸出の増加により、貸出金残高は1,279億12百万円（前期比12億61百万円増加）となりました。



## 当期利益の推移

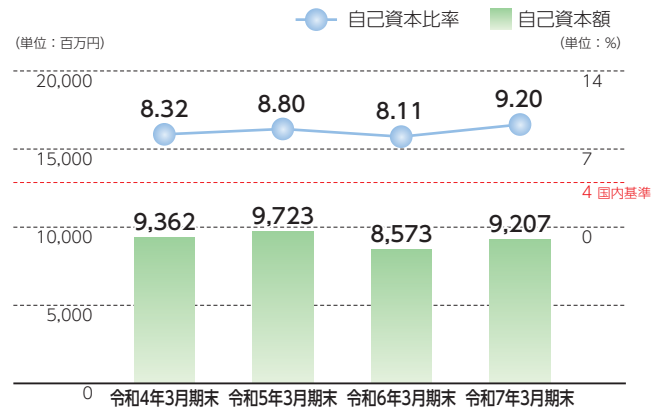
### 【収益】

当期利益は9億30百万円（前期比23億90百万円増加）となりました。金融機関の本来業務での収益力を示すコア業務純益は、7億53百万円（前期比119百万円増加）となりました。



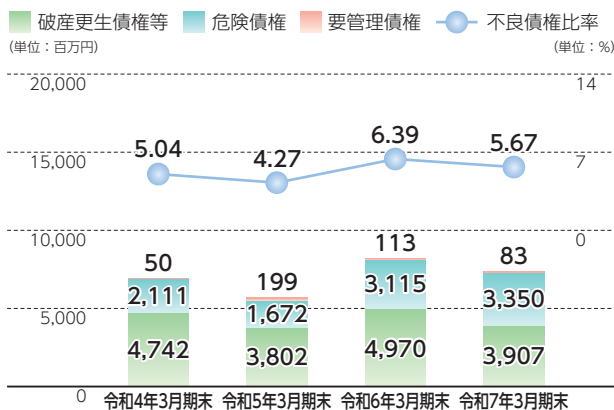
## 自己資本比率

自己資本の額は、92億7百万円（前期比6億34百万円増加）となりました。自己資本額の増加により、自己資本比率は9.20%（前期比1.09ポイント増加）となりました。こちらは、国内で業務を行う金融機関に義務付けられている自己資本比率4%を大きく上回っており、経営の健全性については全く問題ございません。



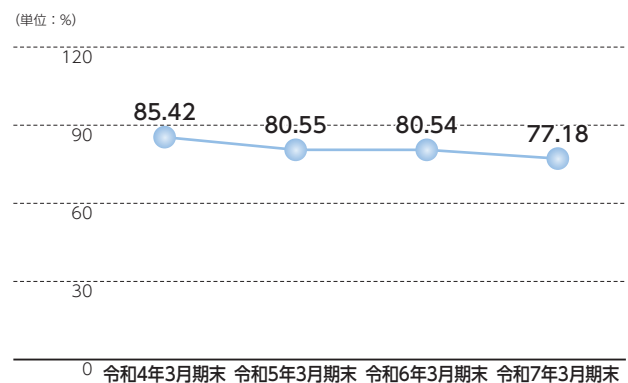
## 不良債権比率

金融再生法に基づく不良債権残高は、73億42百万円（前期末比8億57百万円減少）となり、不良債権比率は5.67%（前期末比0.72ポイント減少）となりました。岩手県中小企業活性化協議会等、外部機関と連携しながら積極的事業再生に取り組んでおります。



## コアOHR（オーバーヘッドレシオ）

コア業務粗利益に占める経費の割合を示したものであり、令和6年度は経費削減に取り組んだことにより、77.18%（3.36ポイント減少）となり、経費効率を高めております。



# 新中期経営計画のビジョン

(サステナブル経営の実現に向けた創造と挑戦『情熱大陸』作戦Ⅱ 2023.4～2026.3)



コーポレートメッセージ

「あなたのそばに、もっと身近に」

経営  
ビジョン

- ① 将来にわたる盛岡信用金庫の存続と発展 (組織風土プロセスの視点)
- ② 職員の声を反映した働きがいのある職場 (風土・文化の視点)
- ③ お客さま満足度の向上 (顧客の視点)

基本方針

地域で信頼される信用金庫を目指し、お客さまに寄り添い、お客さまの課題を解決するための良質な金融サービスの提供を目指していきます。

そのためには、課題解決を担う人づくりを進め、外部機関と連携しながらお客さまの満足度向上を目指します。

こうした積み重ねで、地域の信頼を得て、地域の発展・成長に貢献していきます。

- ① 経営力・経営管理態勢の強化
- ② 職員が働きがいを感じられる職場環境の整備と人材育成の態勢確立
- ③ 地域の支援力・営業力の強化

重点戦略

2

職員の  
働きがいを感じられる  
職場環境の整備  
人材育成の態勢確立

重点戦略

1

経営力・  
経営管理態勢の  
強化

金庫の持続的繁栄  
役職員家族の幸せ

サステナブル  
経営の実現!

金庫の価値向上、社会課題の解決

地域の持続的繁栄

重点戦略

3

支援力  
営業力の強化

(3)金庫の将来のために

- ① 本部機構改革への取組み
- ② 働きがいのある  
職場環境の改善に向けた  
取組み促進
- ③ 人材育成・確保に向けた  
取組み強化
- ④ 金庫のブランド力向上に  
係る取組み
- ⑤ 営業店の取組み支援

(1)経営力の強化

- ① 適正利益の確保
- ② 健全性・透明性の向上
- ③ 生産性・効率性の向上

(2)経営管理態勢の強化

- ① 内部管理態勢の強化
- ② 継続的なマネロン対応
- ③ 統合的リスク管理の強化
- ④ サイバーセキュリティの強化

(4)支援力の強化

- ① ライフステージに応じた支援強化
- ② 金融仲介機能の更なる発揮
- ③ 地方創生・地域活性化への貢献
- ④ 循環型社会の形成に向けた取組み

(5)営業力の強化

- ① 営業推進体制の強化
- ② 職員個々の営業能力向上

# SDGsへの取組み



当金庫は、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の達成に、より一層貢献していくことを目的として、盛岡信用金庫「SDGs宣言」を策定しました。また、岩手県内の6信用金庫（盛岡信用金庫・宮古信用金庫・一関信用金庫・北上信用金庫・花巻信用金庫・水沢信用金庫）で、「SDGs共同宣言」を公表いたしました。

今後も、「地域経済」「地域社会」「地域環境」の3つの側面からお取引先をはじめ、地域社会が抱える課題の解決と持続可能な社会の実現に努め、地域金融機関としての使命を果たしてまいります。



## 「株式会社はちまんたいジオパワー」の設立



令和6年7月1日、当金庫、八幡平市、アーバンエナジー株式会社、株式会社岩手銀行、株式会社北日本銀行の5者は「八幡平市地域新電力事業に関する連携協定」を締結しました。

本協定は、先進的な環境エネルギー分野において、相互に連携、協力しエネルギーの地産地消に向けた地域新電力に係る取組みを通じて、地域の発展に寄与することを目的としています。

本協定を締結した5者は、本協定に基づき令和6年7月23日「株式会社はちまんたいジオパワー」を設立しました。当社は、地熱発電の電源を核として設立する全国初の地域新電力会社です。八幡平市にある地熱発電所「松尾八幡平地熱発電所」および「安比地熱発電所」でつくられた再生可能エネルギー由来の電力を調達することで、地産電気を八幡平市内の民間事業所および公共施設に供給します。



## 第15回「信用金庫保険窓販表彰制度」において「特別賞」を受賞しました

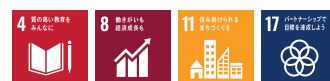


地域貢献に資することを目的とする「SDGs共同寄付」への取組みと併せ、平準払型保険商品の契約件数実績が評価され、全国信栄懇話会が主催する、第15回「信用金庫保険窓販表彰制度」生命保険部門において「特別賞」を受賞しました。

令和6年8月22日、当金庫とSDGsに関する共同寄付スキーム覚書を締結している、フコクしんらい生命保険株式会社（東日本第二営業部 部長 岡田周二 様）が来庫され、表彰状が授与されました。



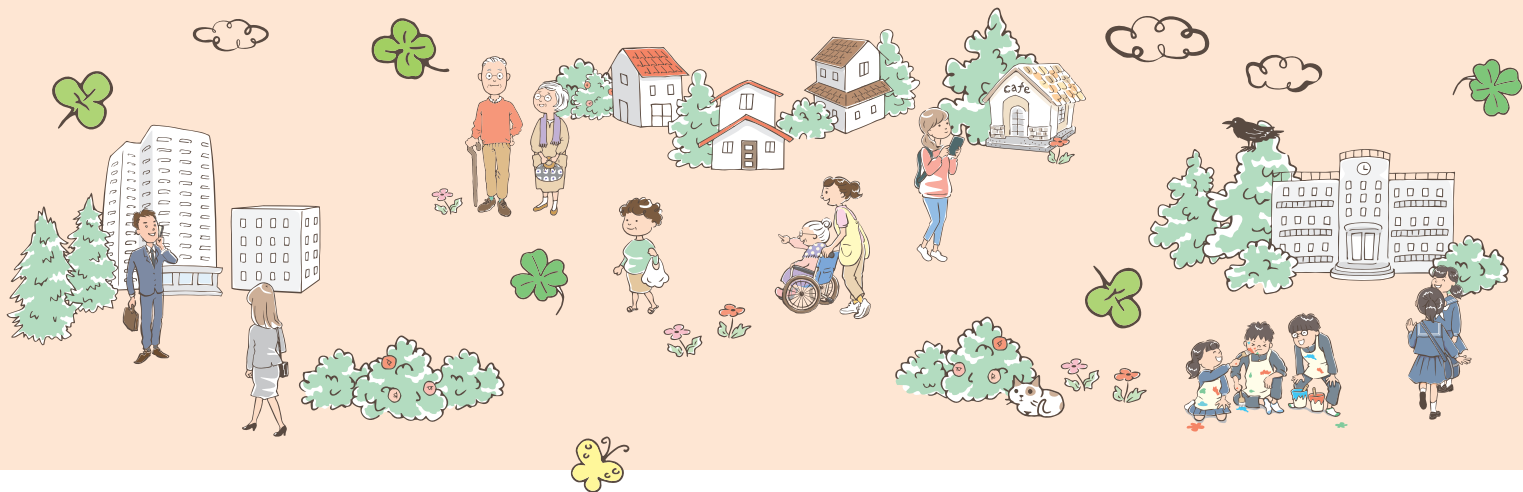
## 「Little Bee of Hachimantai～わくわくおしごとたんけん広場～」への参加



令和6年9月21日、八幡平市総合運動公園体育館および周辺施設において八幡平市の小中学生を対象に開催された「Little Bee of Hachimantai～わくわくおしごとたんけん広場～」に参加しました。

当金庫では、岩手銀行平館支店と連携してブースを設営し、金融機関のお仕事として、模擬紙幣でお札の数え方、機械を使ったお札の数え方・束ね方、1億円の重さなどを体験していただきました。

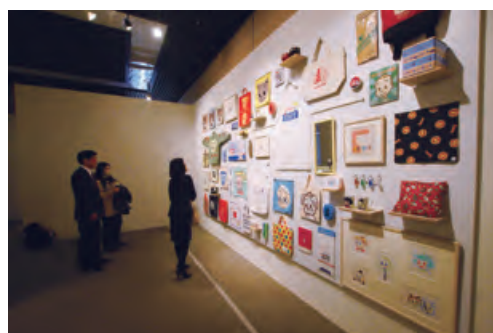




## 文化事業の開催



もりしんPresents [原田治展「かわいい」の発見] に特別協賛しました。  
 1970年代後半から90年代にかけて、女子中高生を中心に爆発的な人気を博した「OSAMU GOODS (オサムグッズ)」の生みの親である原田 治 氏。  
 東北初開催となる本企画展では、イラストレーターとして活動する発端となった、1970年代「an・an」の仕事をはじめ、広告・出版・各種グッズなど多岐にわたる作品を中心に、幼少期から20代前半の初期資料やエッセイ集「ばくの美術帖」関連資料も交えて展示されました。



## 「象と花 (ゾウトハナ)」プロジェクト「古本回収 (寄付) ボックス」の設置



「もりおかSDGsファンド」投資先である株式会社盛岡書房（代表取締役高館 美保子 様）の「古本回収 (寄付) ボックス」を当金庫23店舗に設置し、お客さまをはじめ当金庫役職員から古本の寄付を募っています。令和3年8月から令和7年3月までに、書籍等28,545冊の寄付を受付しました。



令和3年8月から開始した「象と花 (ゾウトハナ)」プロジェクトは、病気とたたかう子供たちへ、読み終えた本を循環させ新しい本に替えて贈ることで、子供たちと読書のよこびを分かち合う取組みです。

また、令和4年2月から遠野市の図書館「こども本の森遠野」と連携した新たなプロジェクトを開始しました。同図書館の棚から入れ替える本や、当金庫遠野支店の「古本回収 (寄付) ボックス」に寄付していただいた本の査定額を基に、販売した代金の一部を図書館の運営費として循環させる取組みです。

## 子育て世帯をサポート



18歳未満のお子さまをお持ちの世帯、母子家庭、父子家庭の世帯を対象に、預金・融資商品の金利優遇サービスを行う「子育て支援事業」に平成20年7月から取組んでおり、地域の子育て支援を積極的にサポートしています。



# 地域密着型金融の取組み

当金庫は、「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念として、地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関を目指して、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

**盛岡信用金庫**

**基本理念**

「ゆたかな暮らしづくりをめざして」

「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」

**＜ライフステージに応じたソリューションの提供＞**

創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
創業計画作成支援	事業計画作成支援		経営改善計画作成支援	
			事業承継・M&A支援	
	ファンド活用支援		事業再生支援	
		ビジネスマッチングによる課題解決支援		
		DX・IT化支援		
		外部支援機関や専門家と連携		

◇中小企業基盤整備機構 ◇岩手県中小企業活性化協議会 ◇岩手県事業承継・引継ぎ支援センター ◇岩手県よろず支援拠点  
◇信金中央金庫 ◇信金キャピタル ◇岩手県発明協会 ◇岩手県信用保証協会 ◇日本政策金融公庫 ◇公認会計士 ◇税理士  
◇中小企業診断士 ◇行政書士 ◇商工会・商工会議所 ◇コンサルティング会社 等

**＜地方創生に向けた取組み＞**

◇盛岡市・久慈市・二戸市・八幡平市・紫波町・矢巾町・葛巻町との連携協定締結

**＜地域貢献活動＞**

◇もりしん地域見守り協力隊 ◇桜の礼所・絵画コンクール ◇岩手県学生軟式野球選手権大会「もりしんカップ」  
◇二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会 ◇もりしん愛の献血運動 ◇文化事業の開催  
◇もりしんマネースクール（出前授業）◇中学生職場体験学習 ◇懇話会（事業経営者の異業種交流）  
◇ゴールドサークル（ゴルフ）◇年金友の会（旅行）◇会員向け旅行 ◇地域の祭り・イベントへ参加

**＜環境保全への取組み＞**

◇「紫波企業の森づくり」森林環境保全活動 ◇「八幡平松尾鉱山跡地」森林再生活動  
◇「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化への支援

**事業の成長・地域の発展**

## 事業支援・事業再生支援

### 中小企業の経営支援に関する取組み方針

- 地域金融機関の使命として、中小企業の事業活動の円滑な遂行とお客さまの生活安定のために、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努め、金融の円滑化に取り組んでまいります。
- 人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、各方面と連携して取り組んでまいります。
- 金融仲介機能を発揮し、お客さまのニーズや課題に応じた融資やソリューション（解決策）の提供を行うほか、外部支援機関や専門家と連携し、事業の成長や地域経済の活性化に貢献してまいります。
- 経営革新等支援機関（認定支援機関）として新規事業支援や事業再生支援のほか、各種補助金等の活用促進に努めてまいります。

### 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているお客さまから、資金需要や貸付条件の変更等のお申し出があった場合には、これまでと同様に経営課題に応じた最適な解決策をお客さまの立場に立てて提案し、実行支援を行う態勢を整備しています。
- 「もりおかSDGsファンド」を設立し、SDGsや地域課題解決に寄与する事業者に対し、資金確保や事業経営の課題に対応する態勢を整備しています。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」を設立し、農林水産業に関わる事業者を出資や経営支援の面から支え、岩手県の基幹産業である農業を中心とした一次産業の発展・活性化につなげる支援を行う態勢を整備しています。
- 中小企業の経営改善および事業再生に向けて、本部に専門部署を設置し、独立行政法人中小企業基盤整備機構、岩手県中小企業活性化協議会、岩手県よろず支援拠点、コンサルティング会社等の外部支援機関や専門家と連携して、お客さまの抱える課題等に対応できる態勢を整備しています。
- 中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的に、株式会社日本政策金融公庫および株式会社商工組合中央金庫と「業務提携・協力に関する覚書」を締結し、当金庫と公的金融機関の機能や特性を活かしながら、お客さまの抱える課題の総合的な解決方法を提案できる態勢を整備しています。
- 事業承継、M&A仲介業務の強化策として、岩手県事業承継・引継ぎ支援センター、株式会社日本政策金融公庫、コンサルティング会社等と連携して支援を行う態勢を整備しています。

### 中小企業の経営支援に関する取組み状況

- 「もりおかSDGsファンド」の投資により、SDGsや地域課題解決に寄与する事業者の支援に積極的に取り組んでいます。「もりおかSDGsファンド」設立からの投資金額は18社141百万円です。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」の投資により、岩手県内の農業法人等の発展・活性化支援に積極的に取り組んでいます。「とうぎん・もりしんアグリファンド」設立からの投資金額は5社154百万円です。
- 令和6年度は、重点支援対象先として21先を選定し、営業店と本部が連携して経営改善に努めたほか、外部支援機関と連携して経営改善計画書の策定支援や事業再生のアドバイスを行うなど、より実効性の高い支援に取り組みました。
- 事業の悩み、課題解決の一助として、岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、令和6年度は25事業先の相談を受けました。
- 経営者保証に関するガイドライン研究会が公表した「経営者保証に関するガイドライン」および事業承継時に焦点を当てた同ガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者の保証を免除する、または経営に関与しない第三者の方の保証は求めない等の対応に努めています。今後もガイドライン等の趣旨を踏まえ、適切に対応するとともに、担保・保証に過度に依存することなく、企業価値や将来性を重視した融資に積極的に取り組んでまいります。なお、令和6年度において、新規に無保証で融資した件数は492件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は50.82%、保証契約を解除した件数は12件、当金庫をメイン金融機関とした保証債務整理の件数は0件でした。

### 経営者保証に関する取組み方針

- 当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着していくために、以下のとおり取り組みます。
- お客さまから融資等資金調達のお申込みを受けた場合、当金庫ではお客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法（一定の金利の上乗せ等）を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
  - 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供しただけの場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
  - お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
  - お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。
  - 割引手形や保証付きの個人事業主への融資における経営者保証を原則不要といたします。

### 経営支援力の向上

- お客さまの資金繰り改善支援や事業再生支援、目利き力向上等のコンサルティング機能の発揮に向けて継続的に研修会を行っています。
- 令和6年度は、独立行政法人中小企業基盤整備機構から講師を招いて「財務分析研修」・「事業承継実践インターバル研修」を実施し、お客さまの経営支援に関するサポート力の向上を図りました。
- 東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターが主宰する「地域イノベーションアドバイザー塾（RIAS）」へ当金庫職員を塾生として派遣し、企業経営と事業革新に関する知識や支援に必要な実践的なスキルを習得、「地域イノベーションアドバイザー」の資格を取得し、お客さまの革新的事業の創出に向けた支援を行っています。

## ○ファンドの紹介

### 【もりおかSDGsファンド】

「もりおかSDGsファンド」は、地域における社会課題の解決・SDGs（持続可能な開発目標）、起業家・経営革新企業の創出、コロナ禍からの復活を投資テーマとし、盛岡広域圏の自治体との連携のもと、SDGsに基づく17のゴールの達成および社会課題解決に取り組む企業へのリスクマネーの供給と経営に対するハンズオン支援を通じ、事業の成長、雇用拡大、地元経済・産業の発展に貢献するものです。

当ファンドは、当金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、FVC Tohoku株式会社との共同出資により設立され、のちに紫波町が加入しました。ファンド総額は199百万円、設立から令和7年3月末までの投資実績は18社141百万円です。

### 【とうぎん・もりしんアグリファンド】

「とうぎん・もりしんアグリファンド」は、ファンドによる「資本に対するリスクマネーの供給」を通じ、岩手の基幹産業である農業を支援しています。

当ファンドは、当金庫、株式会社東北銀行、株式会社日本政策金融公庫、株式会社AGSコンサルティングとの共同出資により設立されました。ファンド総額は200百万円、設立から令和7年3月末までの投資実績は5社154百万円です。

農業法人投資育成事業にかかるファンドの信用金庫と地方銀行による共同設立は、全国初の取組みです。

## ○投資先の紹介

### 【もりおかSDGsファンド】

#### 炎重工株式会社（ほむらじゅうこう）

炎重工株式会社（代表取締役 古澤 洋将 様）は、筑波大学発ベンチャーとしてロボットスーツ「HAL」を開発したCYBERDYNE社から独立した古澤代表により、東日本大震災からの復興と次世代事業の創出を目的に設立されました。

代表の持つ制御技術を基に水域産業へのDXソリューションの開発に着手。現在は「水上ドローン」の開発・販売を主軸とし、国内における技術力と実績はトップを誇ります。

「水上ドローン」は、水域における点検・測量・警備の危険作業の回避や省人化を可能とし、老朽化した水域インフラ（下水管、ダム、河川、橋梁、港湾、棧橋など）の適正検査の実施と併せ、低コスト化が図られます。また、大手企業との協業により、新たなニーズの創出が期待されています。

代表の地域貢献に対する思いや、近年問題となっているインフラ維持にかかる作業の安全性や省人化、低コスト化などの地域課題への解決に寄与することが期待され、ファンドによる支援を行いました。



古澤代表



製品使用中のカメラ映像



製品（使用中）

### 【もりおかSDGsファンド】

#### 株式会社航和（こうわ）

株式会社航和（代表取締役 佐々木 航 様）は、有料老人ホーム、居宅・訪問・通所介護事業のほか、介護施設のコンサルティング事業を運営しています。またグループ企業においては、障害者支援として就労継続支援B型事業所とグループホームの運営のほか、介護向けシステム開発事業も行っています。

同社が開発した「Kaigo Cloud」は、介護施設利用時の契約手続きを大幅に効率化できるシステムで、既に100を超える事業所で利用され高評価を得ています。これまで面談が必須だった契約手続きがオンラインで可能となり、契約書の管理も一元化できます。これにより利用者と家族の利便性向上のほか介護職員の業務効率化が実現しました。

同社の「介護で困っている人々を幸せに」というミッションにより生み出されたサービスは、介護業界における業務負担を大幅に軽減し離職率の低減にもつながります。地域の介護支援の維持は高齢化社会における地域課題であり、同社のサービスが課題解決に寄与することが期待され、ファンドによる支援を行いました。



施設内部



システム利用の様子



佐々木代表

○岩手県よろず支援拠点との連携

全国初の取組みとして、事業の悩み・課題解決の一助を目的に、平成26年12月から岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、これまでに延べ607事業先（令和7年3月末時点）の相談を受けました。岩手県よろず支援拠点では、単なる問題点の指摘や現状分析に終わらず、強みを見つけ、具体的な戦略を立て、成果に導く支援をしています。令和4年度からは、オンライン相談に対応し、最寄りの営業店で相談できる態勢を整えています。



○ビジネスマッチング・販路拡大支援等

「ビジネスマッチ東北」をはじめ、全国の信用金庫ネットワークを利用して、首都圏の信用金庫等が主催するビジネスフェア、物産展へ多くのお取引先企業を推薦し、県内外に向けた販路拡大の支援を通じてお取引先企業の発展に貢献しています。



東北地区

- 令和6年6月11日  
「いわて食の大商談会2024」  
当金庫推薦10企業出展  
(岩手県、盛岡信用金庫他主催)



- 令和6年11月14日  
第19回「ビジネスマッチ東北2024」  
当金庫推薦27企業・団体出展  
(東北地区信用金庫協会他主催)



- 令和6年11月16日～17日  
「とうぎん・もりしん・きたしん・LiViTマルシェ」  
当金庫推薦2企業出展  
[盛岡信用金庫、株式会社東北銀行、北上信用金庫、JR東日本東北総合サービス株式会社 盛岡営業支店（呼称：LiViT）共催]



首都圏

- 令和6年5月20日～24日  
「第18回 東京発！物産・逸品見本市」  
当金庫推薦3企業出展  
(西武信用金庫他主催)



- 令和6年10月18日  
「第13回さわやか信用金庫物産展」  
当金庫推薦2企業出展  
(さわやか信用金庫主催)



- 令和6年11月12日  
「第24回ビジネスフェア」  
当金庫推薦1企業出展  
(西武信用金庫主催)



- 令和6年11月22日  
「ひがしんビジネスフェア2024」  
当金庫推薦1企業出展  
(東京東信用金庫主催)



- 令和6年12月3日～4日  
「2024 “よい仕事おこし” フェア 地域を応援！信用金庫がつなぐ大商談会」  
当金庫推薦1企業出展  
[よい仕事おこしフェア実行委員会 主催（事務局 城南信用金庫）]



○環境省東北地方環境事務所との「脱炭素及びローカルSDGsの実現に向けた連携協定」の締結



令和7年1月28日、当金庫は、株式会社東北銀行、環境省東北地方環境事務所の三者で、東北地方における脱炭素の取組みの普及・促進等を通じて、地域課題の解決や地域活性化を図りつつ、炭素中立（カーボンニュートラル）・自然再興（ネイチャーポジティブ）・循環経済（サーキュラーエコノミー）の同時達成を目指し、「ローカルSDGs」の実現に資することを目的とした協定を締結しました。



○地方創生の連携に関する協定

当金庫は、地域活性化に資することを目的として、7市町、4企業・団体と地方創生に係る連携協定を締結しています。



盛岡市	平成28年 3月24日「地方創生の連携に関する協定」締結 平成31年 2月 6日「産業振興の連携に関する協定」締結
久慈市	平成27年 2月23日「地域経済活性化に向けた包括連携に関する協定」締結
二戸市	平成28年12月 9日「地方創生の連携に関する協定」締結
矢巾町	平成28年 5月11日「地方創生の推進に関する包括的連携協定」締結
葛巻町	令和 5年 1月23日「地域活性化に向けた包括連携協定」締結
紫波町	令和 2年 1月28日「地方創生に向けた地域人材の育成に関する協定」締結 令和 5年 5月15日「紫波町脱炭素社会の実現に向けた連携に関する協定」締結
八幡平市	令和 6年 7月 1日「八幡平市地域新電力事業に関する連携協定」締結

○もりしん「地域見守り協力隊」

もりしん「地域見守り協力隊」の活動は、日常生活および通常業務の中で、子ども・女性・高齢者を含む、地域で生活するすべての住民が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、自治体、警察署並びに消防署等関係機関との連携協力を図り、不測の事態を未然に防ぎ、地域の安心・安全を見守りおよび支援する「良き企業市民」としての役割を果たすことを目的としています。



これまでに、盛岡市をはじめ8市町と協定を締結し活動しています。

盛岡市	令和2年 7月 8日「地域において支援を必要とする者の把握に関する協定」締結
滝沢市	令和2年11月 2日「地域見守り協力に関する協定」締結
矢巾町	令和2年11月 4日「地域において支援を必要とする方の把握に関する協定」締結
二戸市	令和2年12月 2日「地域において支援を必要とする方の把握に関する協定」締結
八幡平市	令和2年12月23日「八幡平市高齢者等見守りネットワーク事業に関する協定」締結
遠野市	令和3年 1月26日「地域見守り活動に関する協力協定」締結
紫波町	令和3年 2月17日「紫波町における地域の安全・安心と活性化に関する連携協定」締結
久慈市	令和3年 3月 9日「久慈市地域見守り協力事業に関する協定」締結

○第38回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」

平成26年度から岩手県野球協会が主催する「岩手県学童軟式野球選手権大会」へ特別協賛しています。

第38回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」は、令和6年8月3日・4日・5日の日程で、雫石町営野球場と雫石町営鶯宿グラウンドA・B・Cを会場に開催されました。

本大会は、岩手県下より各地区の予選を勝ち抜いたスポーツ少年団32チームが出場し、闘志あふれる熱戦が繰り広げられました。



【優勝】久慈湊・久喜黒潮連合（久慈市代表）



○地域の祭り・イベントへの参加

一年を通して積極的に地域の行事に参加しています。

盛岡市「盛岡さんさ踊り」、遠野市「さくら祭り」、二戸市「二戸まつり」など、地域の祭り・イベントに役職員が参加しています。



○第38回二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会

平成20年度から二戸地区信友会連絡協議会が主催する「二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会」へ援後・協賛しています。

第38回二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会は、令和6年9月28日・29日九戸村総合運動場野球場（ナインズ球場）を会場に開催されました。

本大会は、二戸地区から選抜されたスポーツ少年団5チームが出場し、ファイトあふれるプレーが繰り広げられました。



【優勝】一戸野球スポーツ少年団（一戸信友会）



○観光招致活動

平成23年の東日本大震災を機に、全国の信用金庫のネットワークを活用し、岩手県内への観光招致活動を行っています。

令和6年度は、3信用金庫642名の皆さまがご来県され、平成23年度から延べ31信用金庫7,790名の皆さまがご来県されました。

当金庫では、ご来県された皆さまへ御礼と感謝の気持ちを込め、もりしん「さんさ踊り同好会」による「盛岡さんさ踊り」の披露や、訪問地の地方公共団体等と連携し歓迎セレモニーを開催しています。



○第8回「もりしん愛の献血運動2024」  
～6月15日は信用金庫の日～

昭和26年（1951年）6月15日に「信用金庫法」が公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定め、全国の信用金庫が毎年地域に密着した取組みを実施しています。

当金庫では、令和6年6月～12月の期間中、第8回「もりしん愛の献血運動2024」を実施し、役職員とその家族が献血をしました。



## ○もりしんマネースクール （出前授業）

地域の小学校を訪問し「お金の使い方や金融機関の仕事」について学ぶ「マネースクール」を開催しています。平成20年度より、小学校延べ46校120クラス、3,992名の児童を対象に開催しました。



## ○中学生職場体験学習

職場体験・就労体験を通じ、その職業の魅力、社会人に求められることや働くことの大切さ、職業選択の考え方などを学ぶ総合学習の一環として、平成27年度より中学校延べ19校130名の生徒を対象に実施しました。

令和7年度は、中学校2校7名の生徒を対象に、金融機関の基本業務を説明する他、営業店業務の見学等を実施しました。

また、社会福祉法人盛岡市社会福祉協議会と連携し「高齢者疑似体験学習」を実施しました。

実際に高齢者疑似体験装具を身に着けることで、加齢による体の不自由さを体験し、高齢者へ配慮した適切な対応を学習した他、車いすの基本操作や介助方法等も学習しました。



## ○サークル活動

### 「もりしん懇話会」

事業経営者の異業種交流・親睦を深めることを目的として、各営業店単位で組織しています。

講演会、親睦会などを開催しており、気軽に情報交換ができる場として好評を得ています。

令和6年度は、「最新デジタルを使った業務効率化・高度化の取組み」と題し、株式会社ネクストによる地域事業者のDX・IT化の促進に係る講演会を開催しました。

### 「ゴールデンサークル」

お取引いただいているお客さまの中で、ゴルフを楽しまれる方々のサークルです。

ゴルフを通じて親睦を深めるとともに、会員同士の交流によりビジネスマッチ等の接点を得る機会と捉え、取引の拡充を目的としてゴルフコンペを企画し開催しています。

開催日：令和6年7月3日／安比高原ゴルフクラブ／216名参加

開催日：令和6年10月9日／南部富士カントリークラブ／223名参加



## ○第12回盛岡信用金庫 「桜の札所・絵画コンクール」

平成25年の春から、子供たちに自然を大切にする心・郷土を愛する心を育み、子供たちが心豊かでたくましく成長することを願い、盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」を開催しています。

第12回目となる令和6年春のコンクールには、32校2団体の児童より1,288点の作品をご応募いただき、内35点を受賞作品として選定しました。



第12回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」  
【盛岡信用金庫理事長賞】  
桜を描いた場所：夜の石割桜  
盛岡市立河北小学校3年生 遠藤 叶奈さん



## ○盛岡信用金庫会員向け旅行の実施

盛岡信用金庫会員様向け旅行「秋の岡崎・伊勢神宮を訪ねる 岡崎・伊勢・鳥羽3日間」を実施しました。

本旅行は、株式会社JTBが旅行を企画実施し、令和6年11月12日（火）～14日（木）の日程で、お客さま48名、当金庫役職員4名、計52名が参加しました。

旅行初日に訪れた「岡崎公園」（愛知県岡崎市）では、岡崎信用金庫の皆さまから手厚い歓迎をいただいた他、「岡崎信用金庫資料館」を見学しました。

旅行二日目に訪れた伊勢神宮では、三重県信用金庫協会の皆さまに歓迎いただきました。

本旅行は天候にも恵まれ、参加された皆さまには、秋の岡崎・伊勢・鳥羽の各地をご堪能いただきました。



## 「もりしん年金友の会」

当金庫で年金をお受け取りいただいているお客さまや、年金振込のご予約をいただいているお客さまのサークルです。定期預金の金利優遇や、年金受給中の方にはお誕生日プレゼントの特典があります。



※令和6年度年金プレゼント  
「くつつく・包める便利なクロス」

## ○「紫波企業の森づくり」 森林環境保全活動

森林を整備し、水源涵養など森林の公益的機能の向上を目的として、平成23年11月、紫波町と「紫波企業の森づくりに関する協定」を締結しました。

本活動は、紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環として、平成24年から令和8年までの15年間にわたり実施します。

森林整備を通じ、二酸化炭素吸収、水源涵養、土砂流出防止等のほか、間伐によって搬出された木材は、木質チップとして再資源化することにより地域内のエネルギーとして活用されます。

第13回目となる令和6年度の活動は、令和6年6月15日に新入職員17名他計37名の役職員が参加し、間伐により散在している木材を、森の中から作業用道路へ運搬する作業を行いました。

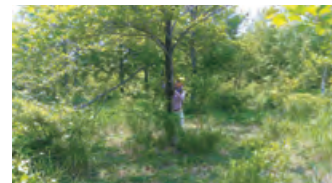


## ○「八幡平松尾鉱山跡地」 森林再生活動

平成20年度より、荒廃裸地化した鉱山跡地を森林に戻そうと八幡平松尾鉱山跡地に「友情の森」と名付け、森林再生活動に取り組んでいます。

これまでに植樹した苗木は1,000本を超え、最初に植樹した苗木は9m超の樹木に成長したものもあり、少しずつ森が形成されています。

第13回目となる令和6年度の活動は、令和6年6月15日に役職員とその家族12名により、保育活動（除伐、枝打ち、下草刈り等）を主に実施しました。

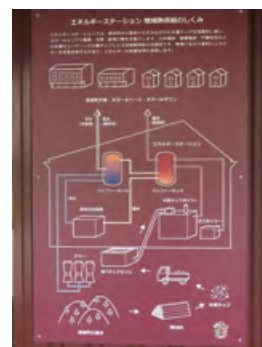


## ○「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化への支援

再生可能エネルギーを活用した事業を継続的に推進・支援することで、「地産地消方式」の環境ビジネスの確立に取り組んでいます。

自治体等への提案を行い、地域内で得たエネルギーを地域内で消費し、エネルギー代として地域外へ流出していた資金を地域内で循環させていくエネルギー版「地産地消方式」を積極的に促進しています。これにより、新たなビジネス・雇用を創造すると共に地域の活性化を目指しています。

なお、紫波中央駅前再開発（オガールプロジェクト）において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅へ木質バイオマスを利用した地域熱供給事業を行うための、エネルギーステーション建設計画を支援しました。また、森林整備を行い、生じた間伐材は地域の公共温泉施設等でチップボイラーの燃料として使用されます。



○お客さまのために

お客さまにご満足いただける商品・サービスを提供するために、ホームページ上に「お問い合わせフォーム」を設置し、お客さまのご意見ご要望をお寄せいただいています。

○サービス向上・改善に向けた具体的取組み

お客さまからのご意見ご要望をもとに、これまで取組んでまいりました主な施策を紹介させていただきます。



●「拡聴器」を各営業店窓口を設置



●「杖ホルダー」を各営業店窓口を設置



●「コミュニケーションボード」「筆談ボード」を各営業店窓口を設置



●ATMは全台「視覚障がい者対応ATM」を導入



●ATMを利用した特殊詐欺被害の防止を目的とした「注意喚起マット」を設置



●本店駐車場に「障がい者用駐車スペース」を設置



●「消毒ステーション（センサー式消毒液噴射器）」の設置



●認知症サポーター養成講座・高齢者疑似体験講座を役職員が受講しています。



●本店ロビーにAED（自動体外式除細動器）の設置



# もりしん能登半島復興応援定期積金 ～みんなでできる復興支援～の取扱いと、 能登半島地震の被災地に対する寄付の実施について

「能登半島復興応援定期積金」は、全国各地の信用金庫が募集した総額の0.25%相当額を、信金中央金庫が能登半島地震被災地方公共団体のうち6市町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）に対し寄付することとし、令和6年10月から令和7年2月にかけて取扱いました。

令和7年3月21日信金中央金庫は、募集総額の0.25%にあたる5億7,800万円に、信金中央金庫からの直接寄付6,000万円を加えた6億3,800万円を、当該被災6市町に対し均等配分して寄付しました。

当金庫の寄付金相当額は、募集総額8億円の0.25%となる200万円となります。

この度は「能登半島復興応援定期積金」の趣旨にご賛同いただき、ご契約いただいたお客さまの温かいご支援に対しまして、厚く御礼申し上げます。

能登半島地震により被災された多くの皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

お預け金額	5年定期積金	お利息
10,000円	1,200,000円	1,200円
20,000円	2,400,000円	2,400円
30,000円	3,600,000円	3,600円
40,000円	4,800,000円	4,800円
50,000円	6,000,000円	6,000円

## Instagram公式アカウントについて

当金庫は、Instagram公式アカウントを公開しております。

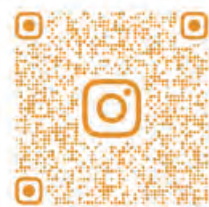
当金庫のことについて、お客さまをはじめとする地域の皆さまに、より身近に感じていただけるような情報を発信しています。

当金庫の取組みや商品情報だけでなく、地域の情報も積極的にお届けし、地域を盛り上げていきたいと思っておりますので、ご愛顧のほどよろしくお祈りいたします。

皆さまからのフォローを、ぜひお待ちしております。

- ▶ URL : <https://www.instagram.com/morishin1150/>
- ▶ Instagramの公式アカウント : @MORISHIN1150

アカウント二次元コード

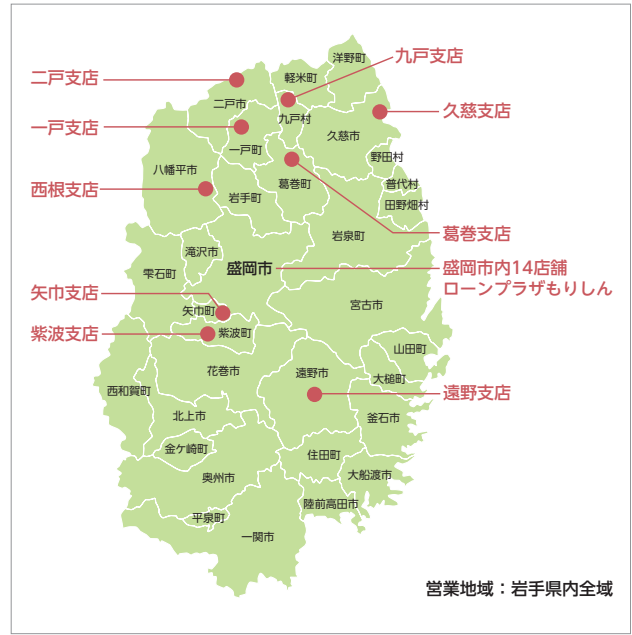


@MORISHIN1150



●店舗インフォメーション・キャッシュサービスコーナー (ATM) (令和7年7月1日現在)

店舗所在地			店内キャッシュサービスコーナー
店舗名	所在地	電話	平日ご利用時間 土・日ご利用時間 祝日ご利用時間
本店	盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号	(019) 623-2221	8:00~21:00
仙北町支店	盛岡市仙北一丁目14番11号	(019) 636-0022	
材木町支店	盛岡市材木町6番6号	(019) 623-6277	
大通支店	盛岡市大通一丁目6番15号	(019) 623-6227	
本町支店	盛岡市本町通一丁目9番26号	(019) 623-6257	
青山町支店	盛岡市青山三丁目30番1号	(019) 647-1181	
厨川支店	盛岡市厨川一丁目10番5号	(019) 641-1185	
都南支店	盛岡市津志田中央二丁目1番5号	(019) 638-3535	
高松支店	盛岡市高松四丁目1番10号	(019) 661-8136	
山岸支店	盛岡市山岸二丁目12番22号	(019) 652-5911	
松園支店	盛岡市松園一丁目20番25号	(019) 662-0101	
天昌寺支店	盛岡市北天昌寺町5番5号	(019) 646-7441	
東支店	盛岡市中野一丁目21番6号	(019) 624-6465	
みたけ支店	盛岡市みたけ四丁目4番16号	(019) 641-1330	
紫波支店	紫波郡紫波町日詰字郡山駅236番地1	(019) 676-2141	
矢巾支店	紫波郡矢巾町大字又兵衛新田第7地割194番地1	(019) 697-8800	
西根支店	八幡平市大更第23地割98番地3	(0195) 76-2611	
久慈支店	久慈市中央二丁目1番地	(0194) 53-3281	
遠野支店	遠野市中央通り1番17号	(0198) 62-3247	
二戸支店	二戸市福岡字中町15番地	(0195) 23-2141	
一戸支店	二戸郡一戸町一戸字向町18番地の1	(0195) 33-3141	
葛巻支店	岩手郡葛巻町葛巻第16地割1番地1	(0195) 66-3311	
九戸支店	九戸郡九戸村大字伊保内第10地割10番地1	(0195) 42-2141	



営業地域：岩手県内全域

ローンプラザもりしん (六日町本部)	盛岡市下ノ橋2番14号	☎0120-160-656	窓口営業時間	平日 (土日、祝日、12月31日~1月3日を除く) 9:00~17:00
--------------------	-------------	---------------	--------	---

●店舗外キャッシュサービスコーナー

	平日ご利用時間	土・日ご利用時間	祝日ご利用時間
六日町			
滝沢市役所			
イオンモール盛岡南			
ビッグハウス巣子店		8:00~21:00	
アクロスプラザ盛岡みたけ			
二戸中央			
二戸市役所浄法寺総合支所			
紫波町役場		8:00~20:00	
流通センター (ラポール盛岡内)	8:00~19:00	土曜8:00~17:00	休業
マリオス	9:00~18:00		休業
DCM西根店		9:00~20:00	
ベルフまつぞの			
ユニバースサタタウン松園店			
ショッピングコートみたけ		9:00~21:00	
盛岡南ショッピングセンターサンサ			
DCM盛南店			
パルクアベニュー・カワトク		10:00~19:00	
ニコア		10:00~20:00	

●共同利用キャッシュサービスコーナー

	平日ご利用時間	土・日ご利用時間	祝日ご利用時間
盛岡地区合同庁舎	8:00~18:00		休業
盛岡駅			8:00~21:00
岩手医科大学トクダヴェール			8:00~21:00
ユニバース久慈SC店			9:00~21:00
一戸町役場	8:00~19:00	土曜8:00~19:00	休業
盛岡市役所	9:00~17:30		休業
盛岡南ショッピングセンター			9:00~20:00
一戸ショッピングセンター			9:00~20:00
ビッグハウス川久保店			9:00~21:00
イオンモール盛岡			9:00~21:00
アネックス・カワトク			10:00~19:00

- ご入金について  
当金庫キャッシュサービスコーナーにおいて、信用金庫・ゆうちょ銀行・信用組合・労働金庫・一部の第二地方銀行のキャッシュカードによるご入金ができます。  
(現金の「出金」と同じ手数料がかかります。提携を行っていない金融機関がございますので、事前にお取扱金融機関にご確認ください。)
- お振込について  
当金庫のキャッシュカードは、信用金庫、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合、労働金庫のキャッシュサービスコーナーで「お振込」ができます。  
また、当金庫キャッシュサービスコーナーにおいて、信用金庫、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合、労働金庫のキャッシュカードによる「お振込」ができます。〔振込手数料〕と〔ATM利用手数料〕がかかります。
- 手数料について  
平日8時から8時45分、18時以降と土曜日8時から9時、14時以降および、日曜日、祝日のご利用は延長手数料110円がかかります。  
全国の信用金庫間の手数料は、平日8時45分から18時まで、土曜日9時から14時までは無料となります。(土曜日は、一部の信用金庫で終日有料となります。他行設置の共同利用のキャッシュサービスコーナーも有料となります。)  
全国のゆうちょ銀行、銀行などのキャッシュサービスコーナーでもご利用いただけますが、手数料の金額が異なる場合がありますので、事前にお取扱金融機関にご確認ください。



令和7年度入庫式



令和7年度新入職員



## ディスクロージャー誌（資料編） に係るご案内

信用金庫法施行規則第132条および第133条並びに金融庁告示による開示項目等については、“ディスクロージャー2025・盛岡信用金庫の現況（資料編）”をご覧ください。

ディスクロージャー誌（資料編）は、当金庫のホームページからご覧いただけます。なお、インターネットに接続できる機器（パソコン、スマートフォン等）をお持ちでないお客さまは、当金庫職員までご相談ください。

### ●当金庫のウェブサイト

（ディスクロージャー誌の掲載ページ）

<https://www.shinkin.co.jp/morishin/about/?id=disclo>

※なお、スマートフォン等からは、  
こちらでもアクセスすることができます。



## 盛岡信用金庫

ディスクロージャー2025・盛岡信用金庫の現況

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-4-6

TEL 019-623-2221

URL <https://www.shinkin.co.jp/morishin/>



本ディスクロージャー誌は、水資源や森林資源の利用を抑えた石灰石からなる新素材「LIMEX（ライメックス）」を使用しています。当金庫は、今後も限りある資源を大切に、環境に配慮したSDGsの取組みを継続してまいります。

廃棄に際しては古紙回収に出さず、可燃ごみとして取扱ってください